

2014年度公益財団法人熊本YMCA事業報告

第1 事業の概要

〔公益目的事業〕

A. ウェルネス事業（野外教育活動及び健康教育活動）

1. 野外教育活動

(1) 自然体験活動

【活動計画及び目標人数】

①通年野外クラス

1)インディアンズクラブ（宿泊を伴う野外活動）

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	5名	4名	12名	9名	10名	13名	10名	7名	37名	32名

〔年間評価〕

年度スタート時に比べ、若干の増加はあったものの、予算達成には至らなかった。特に、1月～3月にかけては、減少傾向が見られた為、次年度へ向けた、退会抑制の取り組みが必要である。また、リーダーの継続的なかわりが難しい状況も見られたため、継続的なかわりと育成が次年度に向けての課題である。

2)サタデーインディアンズクラブ（日帰り野外活動）

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	5名	6名	20名	10名	10名	8名	5名	5名	40名	29名

〔年間評価〕

年度スタート時に比べ、若干の増加はあったものの、予算達成には至らなかった。特に、1月～3月にかけては、微増ではあるが、増加傾向が見られた為、1月～3月を次年度へ向けた入会に向けた募集強化期間として、新たな取り組みを行う。また、リーダーの継続的なかわりが難しい状況も見られたため、継続的なかわりと育成が次年度に向けての課題である。

※通年野外クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	0名	2名	3名	2名	6名

②季節野外活動

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
センターキャンプ	20名	14名	20名	43名	20名	33名	20名	15名	80名	105名
春期キャンプ	30名	33名	0名	0名	15名	21名	25名	32名	70名	83名
夏期キャンプ	45名	76名	80名	129名	50名	132名	75名	115名	250名	452名
冬期キャンプ	30名	73名	0名	73名	15名	44名	25名	54名	70名	244名
合計	210名	196名	240名	245名	210名	230名	230名	216名	890名	884名

〔年間評価〕

春期・夏期・冬期キャンプ共に募集は順調で、予算達成となった。しかし、夏のキャンプが1本台風の影響で中止になったので、その補填をどのように行うかが、今後の課題である。また、リーダーについては、実習として参加している学生も多く、今後は、自主的なリーダーへの促しと、継続的なかわりができるよう、募集・トレーニングを行っていく。

※季節野外クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	3名	3名	3名	1名	10名

③障がい児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
ポニーキャンプ (熊本盲学校との共催)	I C R	7月24日～25日	生徒：12名 ボランティア等：35名
コスモスキャンプ (日本自閉症協会熊本県支部との共催)	阿蘇	8月15日～17日	児童：15名 ボランティア等：26名

[年間評価]

<ポニーキャンプ>

熊本県立盲学校の生徒12名と共に国立阿蘇青少年交流の家にて盲学校の先生方とYMCA学院児童福祉教育科の学生リーダー、スタッフ総勢47名が楽しく安全に山のキャンプを楽しんだ。特に児童福祉の学生にとっても障がいのある方への支援について学ぶ機会となった。

<コスモスキャンプ>

キャンプでは、ソーシャルスキル、コミュニケーションスキル、モータースキル、アカデミックスキル、セーフティスキルの向上を目指したさまざまな活動が行われ、楽しみながら取り組むことができた。キャンプ前に4度の研修を行い、顔合わせ会、事前準備と時間をかけて準備に取り組むことができた。

④災害児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
第3回あそぼうキャンプ	阿蘇	12月12日～14日	児童：30名 ボランティア等：15名

[年間評価]

今回は、当初8月開催の予定であったが、大型台風接近のため、12月に開催となった。今回は8月に発生した広島集中豪雨災害の被災児へのケアを目的に、広島YMCAからスタッフ、リーダーが参加した。また、日本EMDR学会が共催となり、3人のドクター、2名の臨床心理士の協力を得ることができた。また、阿蘇ワイズメンズクラブから2名の弁護士も参加し、心身両面にわたる専門的な支援体制を確立することができた。冬のキャンプということで、阿蘇の大自然を満喫したり、ホースセラピー等で心のケアの目的を達成することができた。

(2) リーダーシップ養成活動

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
キャンプリーダートレーニング	野外教育	5月25日 12月7日	5月開催85名 12月開催16名

<キャンプリーダートレーニング>

[年間評価]

- ・5月25日に実施し、今年も多くユースボランティアが集まり、キャンプスタンダード、セーフティスキル、キャンプスキル、対象理解など基本的な共通理解を図った。
- ・12月7日は、冬のキャンプに特化した研修を行った。特にセーフティスキルに重きを置き消防署から講師を招き実施した。

(3) 自然環境の保全活動

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
①植林事業(森林探検隊) (会場：YMCA的石キャンプ場)	野外教育	4月27日	48名
②環境教育プログラム (会場：YMCA的石キャンプ場ほか)	阿蘇	4月27日、5月25日、 7月27日	各回30名 延べ90名
③YMCAエコキャンプ	阿蘇	8月25日～27日	35名
④熊本県青年森林協力隊推進事業	野外教育	11月8日	32名
⑤九州キャンプミーティング	野外教育	2月21日～22日	50名
⑥ファミリー未来の森づくり	阿蘇	3月15日	80名

[年間評価]

①植林事業：

4月27日にアースウィークの一環として、またYMCA高等学校の授業として実施した。阿蘇森林組合から指導を受け、YMCA的石キャンプ場にてブルーベリーの苗木を30本植樹した。また、以前植樹したケヤキ、クヌギ等の下草を刈ったり、ツル切り、大雪で枝が折れた木の枝打ち等を行った。参加者は、YMCA高等学校、家族、阿蘇の高校生ボランティア、運営委員、スタッフの48名が参加した。

②環境教育プログラム：

YMCA野外活動クラブのメンバーが地球環境保全を目的として、4月から7月の3日間YMCA的石キャンプ場を中心にネイチャーゲーム、蛍の観察、夏の星座観察をそれぞれの専門家を招き実施した。また、的石キャンプ場の的石・跡ヶ瀬地区の避難所となる阿蘇市の計画も決定し、環境教育、防災教育の拠点としてプログラムの充実を図っていききたい。

③YMCAエコキャンプ

8月25日～27日阿蘇キャンプで環境教育を目的に「YMCAエコキャンプ」を実施した。1日目は大阿蘇環境センター蘇水館で水に関する体験学習を受けた。また、野外調理では環境に配慮したエコ・クッキングに挑戦した。2日目は、湧水プールを楽しみ、夜には星座観察を行い、最終日には「自分に出来るエコ宣言」「自分だけのエコクラフト」に取り組んだ。

④熊本県青年森林協力隊推進事業

11月8日（土）的石キャンプ場にて、来年3月のブルーベリー植樹にむけて、地元の皆さんとキャンプ場の森林整備を行った。また、阿蘇市から学識経験者による地質調査も行われた。

⑤九州キャンプミーティング

2015年2月21日～22日日本キャンプ協会名誉会長の酒井哲雄氏を基調講演者に迎え、阿蘇青少年交流の家で九州各県のキャンプ関係者が集まりキャンプミーティングを開催した。次年度は、鹿児島で開催される予定である。

⑥ファミリー未来の森づくり

2015年3月15日九州電力（ころぼらQでん事業）、熊本市民、阿蘇市民100名が的石キャンプにて“未来の森づくり”事業を実施。花壇づくり、ブルーベリーや山桜を植樹、阿蘇の食材を使った交流等を家族を中心として行った。

2. 健康教育活動

(1) スポーツ活動

ア. 子どもスポーツ活動

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

1) 体育英語幼児園

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	24名	25名	—	—	22名	21名	22名	20名	68名	66名

[年間評価]

質の高い体育指導、英語指導に加え、各種行事での子どもたちの成長を保護者に伝えことができた。多彩なプログラムが満足度向上につながっている。熊本YMCA体育英語幼児園30周年の節目で高い認知度を保っていることが実感できた。

2) 体操（ベビー体操、チャレンジキッズ、ワンコイン等を除く）

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	205名	187名	242名	250名	199名	177名	241名	238名	858名	852名

[年間評価]

例年同様の増加推移となったが、予算定員確保という点では、夏以降の挽回が出来なかった。未就学年代の参加者が予定通り獲得できたことは良かった。継続率を予測数保てたことも退会者抑制の成果が現れた。

3) 新体操

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	27名	32名	28名	34名	61名	51名	53名	58名	159名	175名

〔年間評価〕

3月開催の新体操フェスティバルは、ほぼ100%の参加率であり継続率向上の取り組みとなっている。指導者養成を計画通り進め、より多くの参加者を取り込めるようクラス充実を図る。

4) サッカー

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	76名	50名	117名	108名	178名	174名	132名	119名	502名	451名

夏までに増加傾向は見られ、低学年新規入会を獲得できた。一方で、他サッカースクールとの差異化が果たされず、目標定員まで届かなかった。2017年の熊本YMCAサッカー50周年へ向けてブランドの再構築を掲げて取り組む。

5) 水泳

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	—	—	1,022名	984名	1,063名	1,106名	910名	871名	2,995名	2,961名

〔年間評価〕

昨年度より高い継続率から見て、退会者抑制の成果が確認できた。夏場、3,000名を確保したものの冬場の時期での退会者も重なり、年間目標数には届かなかった。「安全教育」=YMCA水泳教室としてのブランドを地域に認知されるよう今後も取り組む。

6) ヒップホップ (チアダンス含む)

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	12名	11名	28名	23名	52名	56名	133名	117名	225名	207名

〔年間評価〕

3月に第1回ダンスフェスティバルを開催することができた。保護者の方へ発表の機会を設けることができ、ダンスの魅力を最大限伝えることができた。年々、ダンスカテゴリーは在籍者も増加傾向にあるため、講師と連携し内部充実を図り、参加者、保護者の満足度向上に努めたい。

7) その他のプログラム (ベビー体操、チャレンジキッズ、ワンコイン等)

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	6名	26名	10名	9名	8名	12名	9名	17名	32名	64名

〔年間評価〕

ファミリープログラムの充実は、YMCAプログラムのテーマであり、貢献度も高い。登録人数と実際の参加者人数に開きがあるため、定期的な行事と連動し参加者同士つながりが得られるようプログラム展開に工夫を持たせたい。

※通年クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	9名	17名	15名	22名	63名

②講習会

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
春期	75名	81名	105名	131名	165名	216名	135名	137名	480名	565名
夏期	110名	120名	360名	369名	335名	399名	320名	361名	1,125名	1,249名
冬期	75名	95名	115名	127名	190名	115名	145名	159名	515名	613名
合計	260名	296名	580名	627名	690名	730名	600名	657名	2,130名	2,427名

[年間評価]

参加者ニーズに合ったプログラムが、目標数を上回り全体数へ貢献した。シーズン生のリピーターも多く、一定の満足度を維持している。夏場の指導者確保が課題として挙げられ、プログラム計画の工夫を一層行っていく。

※講習会、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	0名	1名	4名	0名	5名

イ. 発達障がい支援活動

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	23名	23名	21名	17名	32名	34名	—	—	76名	74名

[年間評価]

<中央>

学習支援では、アカデミックスキルを、体操ではモータースキルの中心に学びを深めてきたが、指導者との関係や他者との関わりからコミュニケーションやソーシャルスキルの向上も見られるなど、成長が望めた。

<みなみ>

1年を通してリーダーやお友だちとのコミュニケーション向上が見られ、ソーシャルスキルの向上し、保護者同士の情報交換等も行われ有意義な1年間の活動となった。

<ながみね>

年間を通して、水泳、体操だけでなく、子ども同士や指導者との関わりの中から社会性を身に付けることができた。

※通年クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	1名	0名	2名	—	3名

②講習会

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
夏期	13名	13名	3名	1名	3名	3名	—	—	19名	17名

[年間評価]

<中央>

学習支援、キャンプともに小学生の参加が多かった。集中的な学習やグループワークはこどもたちの成長に繋がり、アカデミック、ソーシャル、コミュニケーション、モーターのそれぞれのスキルアップにつながった。

<みなみ>

予算定員に達することができなかった。日頃関わっている指導者の引率などの体制を整えていきたい。

<ながみね>

キャンププログラムに3名の参加。日常プログラムとは違った体験や友だち、リーダーとの関わりにより、成長の機会となった。

※講習会、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	0名	0名	0名	—	0名

ウ. 成人スポーツ活動

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
アクア	○		○		○			
ジム	○		—		○			
フィットネス	○		○		○			
月平均	798名	775名	178名	170名	723名	723名	1,698名	1,668名

〔年間評価〕

年間を通じた退会率は抑えられている。多くの地域の方が参加できるプログラムの計画やファミリープログラムなど健康を考えていただく機会を多く提供していきたい。新規会員獲得は、会員紹介も多いため、一層の内部充実により満足度向上を追求していく。

②水泳・体操講習会

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	25名	21名	5名	16名	10名	13名	40名	50名

〔年間評価〕

プログラム参加者が固定化されているため、新規会員の獲得があまりできなかった。夏場へ向けた新規会員獲得型のプログラムと連携し、新たなコミュニティ形成に寄与したい。一方で、退会者も少ないため参加者の満足度は高いプログラムとなっている。

エ. 高齢者スポーツ活動

【活動計画及び目標人数】

①メディカルチェック費用無料者（60歳以上の参加者：人数はウ①通年クラスに含む。）

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
年間合計	60名	19名	—	—	50名	26名	110名	45名

〔年間評価〕

積極的な告知を行ったが、利用者は目標数に達せなかった。利用者の満足度は高いため、今後もスタッフから積極的に推進していく。医療機関との連携も深まり、地域貢献事業をさらに活性化させる。

(2) 地域支援活動

【活動計画及び目標人数】

①水の安全キャンペーン

プログラム名	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	阿蘇	計
水の安全ハンドブック 配布部数	1,200部	2,500部	30部	2,100部	2,950部	850部	9,630部
配布先：小学校	18校	36校	1校	23校	42校	11校	131校
幼稚園	園	1園	園	2園	園	園	1園
保育園	園	1園	園	1園	園	4園	5園
着衣水泳指導先	小学校、幼稚園、保育園等からの依頼により下記の如く実施						

校・園名	期日	曜	対象	人数	実施Y	指導者
御幸小学校	6/23	月	1.5.6年生	270名	みなみ	3名
御小学校	6/24	火	2.3.4年生	270名	みなみ	3名
白川保育園	6/26	木	4.5歳児	80名	むさし	2名
かずみ保育園	6/30	月	4.5歳児	54名	むさし	2名

白川幼稚園	7/1	月	4.5歳児	162名	むさし	2名
YMCA黒川保育園	7/3	木	全園児	50名	ながみね	3名
御船小PTA	7/4	金	保護者	172名	みなみ	3名
西原小学校	7/8	火	2.4.6年生	380名	ながみね	3名
嘉島西小学校	7/10	水	5.6年生	126名	みなみ	3名
ひろやすにし保育園	7/11	金	4.5歳児	39名	ながみね	2名
川尻小学校	7/14	月	全学年	480名	みなみ	3名
西原小学校	7/15	火	1.3.5年生	240名	ながみね	2名
ひろやす保育園	7/16	水	4.5歳児	75名	ながみね	2名
御船小学校	7/16	水	保護者	8名	みなみ	2名
日吉小学校	7/17	木	2年生	77名	みなみ	3名
YMCA赤水保育園	7/17	木	全園児	40名	ながみね	3名
菊陽南小学校	7/17	木	全学年	75名	むさし	2名
広安小学校	7/18	金	4.5年生	200名	ながみね	3名

②指導者派遣（熊本市内及び周辺地域）

場所	プログラム	期日	曜	対象	人数	実施Y	指導者
白川小学校	レクリエーション指導	7/5	土	小5	50名	中央	1名

場所	プログラム	期日	曜	対象	人数	実施Y	指導者
田迎小学校	レクリエーション指導	6/15	日	小4	82名	みなみ	2名
画図小学校	レクリエーション指導	6/22	日	小2	250名	みなみ	2名
キュービークラブ	親子体操	9/3	水	乳幼児	15名	みなみ	1名
ひかり保育園	親子運動指導	12/6	土	年少親子	56名	みなみ	2名

場所	プログラム	期日	曜	対象	人数	実施Y	指導者
月出小学校	レクリエーション指導	4/20	日	小学生	80名	ながみね	1名
桜木小学校	レクリエーション指導	5/11	日	小学生	40名	ながみね	1名
楠小学校	レクリエーション指導	6/21	土	親子	100名	ながみね	1名
津森小学校	水泳指導	6/19	木	小学生	40名	ながみね	1名

場所	プログラム	期日	曜	対象	人数	実施Y	指導者
九州音楽幼稚園	指導者研修	5/10・6/7	土	教諭	10名	むさし	1名
神水幼稚園	指導者研修	7/22	火	教諭	10名	むさし	1名

B. 子育て支援事業

1. 幼児保育活動（ぶどうの木幼稚園）

【活動計画及び目標人数】

①ぶどうの木乳児園（みなみYMCA）

	2歳児	3歳児	4歳児	5歳	計
目標人数（月）	13名	16名	13名	8名	50名
実数（月）	12名	12名	12名	9名	44名

[年間評価]

3月に9名の年長児を無事に卒園させることができた。年中以下の園児たちもこの1年間で体はもちろん、相手を思いやる心や自分でできることは自分でする責任感の気持ちをはぐくむことができた。

※参加費減免制度の利用者数

	みなみ
利用者数	0名

2. アフタースクール (学童保育)

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

1)アフタースクール

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	—	—	18名	15名	—	—	25名	17名	43名	32名

[年間評価]

<みなみ>

1年間で固定したメンバーでのプログラムとなったためにより絆が強くなり、兄弟のような関係をもって安全に過ごすことができた。

<むさし>

年間を通じて共働きの保護者をサポートすることができた。参加者間の関係性も深まり、アットホームな雰囲気が出来上がった。広報不足もあり、定員を満たすことができなかつたことを踏まえ、今後はPRを意識的に行い、充足を図っていく。

2)児童絵画

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	—	—	6名	3名	10名	7名	—	—	16名	10名

[年間評価]

<みなみ>

定員からかなり少ない人数でのプログラム実施になった状態が1年続いたことは課題として残ったが、参加した子どもたちは感性豊かな作品を多く作り、その成長が見られた。

<ながみね>

文化芸術活動として、参加する子どもたちの表現力や感性を高めるプログラムとして実施した。

<むさし>

週1回、アフタースクールのカリキュラムの一環として取り組むことで、参加者の情緒的安定、感性が高まっている。作品を展示することで、取り組む姿勢も更に向上している。

※通常クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	—	1名	0名	3名	4名

②講習会

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
春期	—	—	20名	47名	3名	0名	10名	4名	33名	51名
夏期	—	—	74名	90名	9名	10名	43名	21名	126名	111名
冬期	—	—	10名	21名	3名	3名	10名	0名	23名	21名
合計	—	—	104名	158名	15名	13名	63名	25名	182名	183名

[年間評価]

<みなみ>

春期、夏期ともに予算を上回る参加者を獲得することができた。夏期講習会参加者の通常クラスへの取り込みを図る。冬期は5日間コースと3日間コースを設けたことで、選択肢も広がり予定していた人数の倍以上の参加者があつた。

<ながみね>

春は参加者なし、夏は10名、冬は3名と参加者数が多くはないが、休み中の子どもたちを預かるプログラムとして保護者の方々に喜んでいただいた。

<むさし>

年間クラスに入会予定の方が講習会から1名参加。通常のアフタースクールの参加者が朝からの講習会に3名参加。新しい会員の募集に課題が残る。冬期は参加者がなかった。

※講習会、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	ながみね	むさし	計
利用者数	—	3名	0名	0名	3名

C. 国際理解・国際教育活動（国際交流活動及び語学教育活動）

1. 国際交流活動

【活動計画及び目標人数】

①海外派遣

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
タイ・ワークキャンプ	ICR	—	—
タイ・スタディツアー	ICR	2月12日～16日	6名
ミャンマー・スタディツアー	みなみ	2月18日～24日	5名
インドネシア・メダンYMCA訪問	上通	8月25日～30日	3名
東ティモール・ユースワークキャンプ	ながみね	9月6日～15日	3名
カンボジア・スタディツアー	むさし	2015年度に延期	—

[年間評価]

<ICR>

タイ・ワークキャンプに関しては、タイの政情不安のため募集を行わなかった。

北部タイ里親運動20周年を記念して、スタディツアーを実施し、ユース、里親6名でタイの山岳少数民族の村などを訪れ、交流を行った。

<みなみ>

ミャンマー・スタディツアーを2月18日(水)～24日(火)に実施した。東京からの参加者も含め5名でモガウンYMCA・ミャンマーYMCA 同盟等を訪問し、現地の実情の視察と今後の支援計画等について話し合いを持った。

<上通>

国際ユースボランティアの大学生1名、運営委員1名、職員1名の計3名でメダンYMCAやスラム街を訪問した。またメダンYMCAが行っているオルタナティブツーリズムを、国立公園に指定してある熱帯雨林のジャングルで体験した。

<ながみね>

9月にユースワークキャンプを実施。熊本YMCAからスタッフとユースリーダー、広島YMCAからスタッフを派遣。ユースワークキャンプ参加とサッカー指導支援を行った。

<むさし>

今年度は9月から10月に19日間カンボジアからのスタッフ招聘を行ったこともあり派遣プログラムは2015年度の計画に変更となった。

②海外受入

プログラム名	担当部署	実施日	受入人数
ICCPJ 海外キャンプカウンセラー受入 (ICCPJ: インターナショナル・キャンプカウンセラー・プログラム)	阿蘇/ 上通	7月14日～8月14日	2名
ミャンマー・モガウンYMCA からの留学生支援	みなみ	2014年4月～2015年3月	1名
東ティモール駐日大使受入	ながみね	9月16日～18日	2名
カンボジアYMCAスタッフ 招聘研修プログラム	むさし	9月22日～10月10日	1名

[年間評価]

<阿蘇>

2名のキャンプカウンセラーを受け入れることができた。阿蘇・日本の文化体験も行うことができた。サマーキャンプにも参加頂き、期間中に、様々な活動ができた。

<上通>

国際ユースボランティアとの交流及び「ゆかた祭」へのボランティア参加の場を提供した。

<みなみ>

4月より1年間の予定で、モガウンYMCA総主事令嬢のNu Tawng Sanさんの熊本YMCA学院日本語科での留学支援を行っている。

<ながみね>

熊本YMCAが支援している東ティモールの駐日大使が来熊され、熊本県知事、熊本市長、阿蘇市長、小学校、熊本YMCAなどを訪問し交流を行い、今後の支援活動についても協議した。

<むさし>

カンボジアYMCAとの交流プログラムとして24歳の女性スタッフを研修として受け入れた。合志市近隣の小学校・中学校訪問、合志市長表敬訪問、日本語研修など充実したプログラムとなった。

③国内交流

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
1)広島ピースセミナー	ICR	8月4日～6日	7名
2)PHD協会研修生との交流	ICR	1月15日	17名

[年間評価]

1)広島ピースセミナー：

広島の地において、被爆者の声を聴き、また平和について、英語を使って語り合う機会を得、参加した7名にとって大きな経験となった。

2)PHD協会研修生との交流

ネパール、ミャンマー、インドネシアからの研修生と高校生17名とが交流を行い、文化や習慣の違いを学ぶこととなった。

④リーダーシップ養成活動

プログラム名	担当部署	実施日	参加人数
国際ユースボランティア定例会	上通	毎月2回	15名

[年間評価]

・国際ユースボランティアは毎月の定例会で大学生が主体的にリーダーシップ養成のためのワークショップ等を行った。これらの取り組みが国内外や地域のためのボランティア活動にもつながっている。

2. 語学教育活動

(1) 国際理解を深めるための外国語教室

ア. 子ども英語教育活動

【活動計画及び目標人数】

①Zooクラブ

	中央		みなみ		上通		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	13名	18名	32名	29名	11名	10名	19名	18名	23名	18名	98名	93名

[年間評価]

予算定員に若干数達しなかったものの、年度途中の退会者もほとんどなく年度を終了することができた。3月に行った保護者会・授業参観でも、多くの保護者から高い評価を得ることができた。

②子ども英語クラス

	中央		みなみ		上通		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	40名	46名	222名	224名	-	-	135名	145名	134名	147名	532名	562名

[年間評価]

予算定員を上回り、年度を終えることができた。小学生でも上級レベルになるとレッスンの中にキャラクターディベロップメント(人格形成)や多文化共生理解の要素を取り入れた。これらの取り組みが保護者はもとより、受講者である小学生から中学生に受け入れられていると評価できる。

※通常クラス、参加費減免制度の利用者数

	中央	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
利用者数	2名	3名	0名	1名	2名	8名

イ. 成人語学教育活動

【活動計画及び目標人数】

①英会話クラス

	みなみ		上通		ながみね		むさし		計	
	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数	目標	実数
月平均	36名	36名	159名	164名	13名	4名	36名	35名	244名	238名

[年間評価] (富森さん)

予算定員を下回ったものの、募集停止したながみねファミリーYMC Aを除くすべてのYMC Aで定員を上回るかほぼ同数の会員数を維持し、よい事業運営ができた一年であった。英会話受講者の中には留学生との「日本語会話ボランティア」に参加する人、年末募金に協力する人などが年々増えてきており、YMC A成人英会話の特色が会員に浸透していることが分かる。

②目的別クラス

	上通	
	目標	実数
月平均	9名	12名

③世界のことば

	上通	
	目標	実数
月平均	61名	58名

[年間評価]

世界のことばは一年を通して予算定員に満たなかったが、長期在籍者の割合が多く会員数は安定していた。英会話クラスと比較すると世界のことばや目的別クラスはクラス種別で人数が少ないが、その分、クラスメイト同士の絆が強い。例えば、韓国語クラスは、互いにハングルの図書を貸し合う「YMC Aハングルクラブ」が定着している。

※地球市民育成のための参加費減免制度の利用者数

	みなみ	上通	ながみね	むさし	計
利用者数	6名	28名	0名	4名	38名

(2) 国際理解を深めるための日本語教室

【活動計画及び目標人数】

①生活日本語クラス

	上通	
	目標	実数
月平均	4名	4名

②日本語教師養成クラス

	上通	
	目標	実数
月平均	3名	6名

③日本語学校 (短期留学コース)

	上通	
	目標	実数
月平均	9名	7名

[年間評価] (富森さん)

会員数の獲得ができず厳しい運営の一年であった。教師養成講座では一定の人数を確保できたものの、上通日本語学校では夏期および冬期短期コースの時期を除いては十分な受講者数を獲得できず、収支にも影響した。上通日本語学校の受講生のほとんどは海外からの短期留学生である。今後はアジアからのより多くの受講者数獲得と受講者数の安定を目指す。

〔収益事業等〕

1. 宿泊及び料飲に関する事業 (阿蘇YMC A)

【活動計画及び目標人数】

宿泊利用者				飲食提供者			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
266名	288名	3,190名	3,456名	310名	315名	3,720名	3,790名

〔年間評価〕

宿泊は、個人客の利用が増加した。食事も団体での利用などがあり、予定していた利用者数を確保することができた。

2. 指定管理施設受託及びそれに附帯する事業

(1) 福岡県大牟田市所有の多目的活動施設「リフレッシュおおむた」の管理運営

【活動計画及び目標人数】

①施設利用

1) 宿泊利用

屋内利用者				キャンプ場利用者			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
232名	261名	2,780名	3,129名	56名	55名	670名	660名

2) 日帰り利用

キャンプ場				和室			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
397名	366名	4,766名	4,393名	554名	565名	6,650名	6,774名

体育館				クライミングウォール			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
1,263名	1,267名	15,150名	15,198名	198名	182名	2,380名	2,186名

料理室				研修室			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
468名	505名	5,620名	6,061名	593名	531名	7,110名	6,368名

音楽室				創作室			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
33名	31名	395名	367名	177名	151名	2,120名	1,813名

交流室			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
132名	177名	1,580名	2,126名

〔年間評価〕

- ・屋内宿泊、和室、体育館、料理室、交流室が、予算より実数が上回った。キャンプ場利用者については、小中学生の利用件数減および一回当たりの人数が減ってきたことが未達の原因である。
- ・全体的には概ね予算数に近い数値となった。

②指定管理者行うべき事業

1) 必須事業

	なんでもやる隊 (定期：野外活動クラブ)			がまだす隊 (定期：野外活動クラブ)			春の野草を食べよう (共催) (4月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
4月							110名	1	46名
5月	30名	1	28名	30名	1	29名			
6月	30名	1	25名	30名	1	30名			
7月	30名	1	25名	30名	1	30名			
8月				30名	1	30名			
9月	30名	1	24名	30名	1	30名			
10月	30名	2	42名	30名	1	30名			
11月	30名	1	23名	30名	2	46名			
12月	30名	1	21名	30名	1	30名			
1月									
2月	30名	1	29名						
3月									
延べ数	270名	9	217名	270名	9	255名	110名	1	46名

	ほたる観察会 (5月)			野外活動指導者講習会 (7月)			通学合宿等長期宿泊合宿 (8月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
5月	40名	1	130名						
6月									
7月				20名	1	26名			
8月							25名	1	28名
延べ数	40名	1	130名	20名	1	26名	25名	1	28名

	星空観察会 (8月、2月)			レクリエーション指導 (依頼により実施)			キャンプファイヤー指導 (依頼により実施)		
	募集人数	回	実数	募集人数	件	実数	募集人数	件	実数
6月					2	186名			
7月								1	50名
8月	60名	1	47名						
9月								1	130名
11月					1	26名			
2月	60名	1	4名						
延べ数	120名	2	51名		3	212名		2	180名

2) 提案事業

	親子クッキング教室 (5月、6月)			親子陶芸教室 (5月・6月・7月)			女性教養講座 (小物・緋) (6月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
5月	15名	1	1名	36名	1	40名			
6月	15名	1	51名	36名	1	28名	20名	1	24名
7月				36名	1	33名			
合計	30名	2	51名	108名	3	101名	20名	1	24名

	クライミング講習会 (1月～3月)			親子ものづくり教室 (12月)			山野草苔玉教室 (12月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
12月				20名	1	20名	15名	1	16名
1月	15名	3	50名						
2月	15名	3	45名						
3月	15名	2	25名						
合計	45名	8	120名	20名	1	20名	15名	1	16名

	大人陶芸教室 (9月、10月、11月)			アウトドアクッキング教室 (2月、3月)			ヨガ&健康体操教室 (通年)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
4月							10名	14	183名
5月							10名	9	149名
6月							10名	12	185名
7月							10名	15	181名
8月							10名	10	94名
9月	16名	1	5名				10名	11	131名
10月	16名	1	5名				10名	14	171名
11月	16名	1	5名				10名	11	114名
12月							10名	11	91名
1月				10名	1	15名	10名	10	84名
2月				10名	1	16名	10名	12	97名
3月							10名	12	105名
合計	48名	3	15名	20名	2	31名	120名	141	1,585名

〔年間評価〕

- ・必須事業は、青少年の育成に繋がる充実したものとなった。
- ・提案事業は、親子の触れ合い、生涯学習の推進、地域活性化を果たした。
- ・自主事業で行われた「甦れ大牟田市上内小学校 旧四箇分校資料展」は有意義なものとなった。

(2) 共同企業体による熊本県御船町所有の「御船町スポーツセンター及び町民グラウンド」の管理運営

【活動計画及び目標人数】(10月1日より業務開始)

①施設利用(10月～3月)

ア. 御船町スポーツセンター							
プール				アリーナ			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
4,000名	3,199名	24,000名	19,196名	3,330名	3,617名	20,000名	21,699名

ア. 御船町スポーツセンター							
武道場				会議室			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)	目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
1,080名	1,328名	6,500名	7,970名	250名	283名	1,500名	1,699名

イ. 御船町町民グラウンド			
目標 (月平均)	実数 (月平均)	目標 (累計)	実数 (累計)
1,330名	1,082名	8,000名	6,493名

〔評価（10月～3月）〕

施設貸出業務に加え、御船町木倉地区スポーツ大会に指導協力したり、御船町校区対抗駅伝大会に参加したり、総合型地域スポーツクラブ フネッピーすこやかスポーツクラブへの指導協力をすることで、地域の方々に指定管理者であるYMCAへの認知を深める活動を積極的に行った。また、館内にご意見箱を設置して利用者からの意見・要望をくみ取り、改善していくことでより良い施設運営を心掛けた。

②自主事業

	エアロビクス教室 (毎週実施)			ヨガ教室 (毎週実施)			歌声広場 (1月)		
	募集人数	回	延実数	募集人数	回	延実数	募集人数	回	実数
10月	15名	6	11名	15名	8	40名			
11月	15名	8	15名	15名	12	52名			
12月	15名	4	13名	15名	4	35名			
1月	15名	4	14名	15名	4	35名	30名	1	45名
2月	15名	4	18名	15名	4	91名			
3月	15名	4	13名	15名	4	69名			
延べ数	360名	24	84名	360名	24	322名	30名	1	45名

	いきいき健康講座 (1月)			子育て講演会 (2月)			ノルディックウォーク (3月)		
	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数	募集人数	回	実数
10月									
11月									
12月									
1月	15名	1	20名						
2月				15名	1	0名			
3月							30名	1	20名
延べ数	15名	1	20名	15名	1	0名	30名	1	20名

〔評価（10月～3月）〕

ヨガ・エアロビクス教室は、参加者のより高いニーズと適正な実施時間を検討し、若干のプログラム設定を行った。ヨガ教室は参加者が定着してきた。また、ノルディックウォーキングの指導や歌声広場わいわいなど、YMCAならではのノウハウを取り入れたプログラムを行うことでYMCAの認知度を高めることができた。

3. 不動産の貸付に関する事業

中央YMCA及び阿蘇YMCAの土地の一部を学校法人熊本YMCA学園に貸与

1) 中央	熊本市中央区新町1-3-8の土地のうち、461㎡を貸与
2) 阿蘇	阿蘇市車帰の土地のうち、1919.8㎡を貸与

4. 自動販売機手数料事業

各施設に設置している自動販売機の手数料収益

1) 中央	7台（前年度と設置台数変更なし）
2) みなみ	5台（前年度と設置台数変更なし）
3) ながみね	3台（前年度と設置台数変更なし）
4) むさし	5台（前年度と設置台数変更なし）

第2 処務の概要

1 評議員・役員等に関する事項

(1) 評議員

(2015年3月31日現在)

役職名	氏名	職業	就任年月日	担当事務	報酬	備考
評議員	上村眞智子	団体役員	2012年4月1日		無給	
評議員	今村 秀夫	自営業	2012年4月1日		無給	
評議員	岩本 悟	会社役員	2012年4月1日		無給	
評議員	藤本猪智郎	弁護士	2012年4月1日		無給	
評議員	米村 謙一	会社役員	2012年4月1日		無給	
評議員	小堀 鈴代	会社員	2012年4月1日		無給	
評議員	篠崎 泰子	デｲｰﾋﾞｽ施設長	2012年4月1日		無給	
評議員	小川祐一郎	教諭	2013年6月1日		無給	
評議員	立野 泰博	牧師	2013年6月1日		無給	
評議員	朴 哲浩	宣教師	2013年6月1日		無給	
評議員	藤本 義隆	自営業	2013年6月1日		無給	
評議員	松藤 由美	無職	2013年6月1日		無給	
評議員	宮崎 隆二	会社役員	2013年6月1日		無給	
評議員	来海 恵子	市議会議員	2013年6月1日		無給	

(2) 役員 (理事・監事)

(2015年3月31日現在)

役職名	氏名	職業	就任年月日	担当事務	報酬	備考
代表理事	菅 正康	勤務医	2013年5月31日	理事長	無給	重任
代表理事	岡 成也	私学職員	2014年4月1日	専務理事	無給	重任
理事	明石 照久	大学教授	2013年5月31日		無給	
理事	内村 公春	(社福)理事長	2013年5月31日		無給	
理事	角本 浩	牧師	2013年5月31日		無給	
理事	中村 邦雄	自営業	2013年5月31日		無給	
理事	平山 俊生	会社役員	2013年5月31日		無給	重任
理事	横田 佳恵	高校非常勤講師	2013年5月31日		無給	
理事	吉本 寛治	会社役員	2013年5月31日		無給	重任
監事	大崎 隆義	税理士	2013年5月31日		無給	
監事	川上 安生	会社役員	2013年5月31日		無給	重任

2 職員に関する事項

(2015年3月31日現在)

	フルタイム	パートタイム	合計
講師職	40名	—	40名
事務職	34名	33名	67名
合計	74名	33名	107名

3 評議員会・理事会に関する事項

(1) 評議員会

開催年月日	出席数	議事内容	会議の結果
2014年5月31日	12名	〔決議事項〕 ・2013年度の計算書類等及び財産目録承認の件 〔報告事項〕 ・2013年度事業報告の内容報告について	・計算書類等を承認 ・報告内容を了承

2014年 8月 19日	10名	〔決議事項〕 ・2014年度事業計画書の一部変更承認の件 ・2014年度収支予算書等の一部変更承認の件	・変更を承認 ・変更を承認
2015年 3月 19日	12名	〔決議事項〕 ・2015年度事業計画書承認の件 ・2015年度収支予算書等承認の件	・事業計画書を承認 ・収支予算書等を承認

(2) 理事会

開催年月日	出席数	議事内容	会議の結果
2014年 4月 1日	9名	〔決議事項〕 ・代表理事たる専務理事選定の件	・理事岡成也を専務理事に選定
2014年 5月 14日	6名	〔決議事項〕 ・2013年度の事業報告承認の件 ・2013年度の計算書類等及び財産目録承認の件 ・第1回評議員会招集の件	・事業報告を承認 ・計算書類等及び財産目録を承認 ・招集を承認
2014年 8月 9日	9名	〔決議事項〕 ・指定管理者受託に伴う変更認定申請の件 ・2014年度事業計画書の一部変更承認の件 ・2014年度収支予算書等の一部変更承認の件 ・第2回評議員会招集の件 〔報告事項〕 ・職務執行状況の報告について	・変更認定申請を承認 ・変更を承認 ・変更を承認 ・招集を承認 ・報告内容を了承
2014年 12月 27日	9名	〔決議事項〕 ・指定管理者受託に伴う変更認定申請の件	・変更認定申請を承認
2015年 1月 22日	5名	〔決議事項〕 ・2015年度予算編成方針の件 〔報告事項〕 ・職務執行状況の報告について	・編成方針を承認 ・報告内容を了承
2015年 3月 10日	8名	〔決議事項〕 ・2015年度事業計画書承認の件 ・2015年度収支予算書等承認の件 ・第3回評議員会招集の件	・事業計画書を承認 ・収支予算書等を承認 ・評議員会招集を承認

4 会員に関する事項 (会員数の推移)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
普通会員	6,438	6,448	6,266	6,361	6,158	6,325	6,456	6,470	6,327	6,296	6,278	6,236	6,338
維持会員	1,038	1,037	1,058	1,070	1,093	1,096	1,104	1,099	1,105	1,107	1,104	1,109	1,085
合計	7,476	7,485	7,324	7,431	7,251	7,421	7,560	7,569	7,432	7,403	7,382	7,345	7,423

第3 附属明細書

2014年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。